

おおがわら

議会だより



第175号

令和7年5月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



新たなスタート

令和7年4月8日

(金ヶ瀬中学校)

令和7年度予算概要	②③
予算質疑	④⑤
議案審議(1月、3月)	⑥⑦
町政への提言	⑧
委員会活動	⑲⑳
町民の声	㉔

一般会計

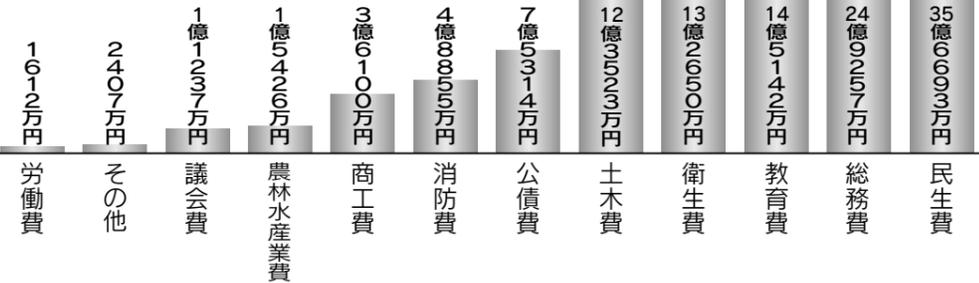
昨年より増
(前年度比15.0%)

119億8216万円

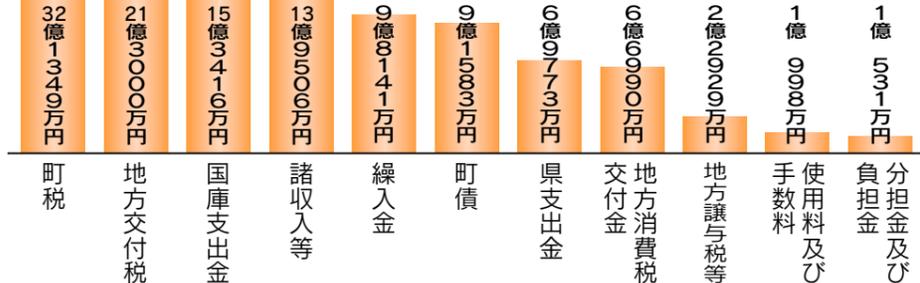
3月会議

歳入

歳出



※四捨五入のため、
数値が一致しない
部分があります。



3月会議は3月3日から17日までの会期で開きました。町から提出された議案（うち令和6年度各種会計補正予算5件、令和7年度各種会計予算、補正予算2件）を審議し、全て原案通りに可決しました。
以下では令和7年度に実施される主な事業を掲載します。



防災行政無線（同報系）工事

1億3100万円

※写真はイメージです



南小学校1号校舎
外壁・屋上防水改修工事

1億7600万円



学校給食 無償化

特別会計

事業名	予算額 (前年度比)
後期高齢者医療	3億6684万円 (2.6%)
国民健康保険	20億6941万円 (△7.2%)
介護保険	16億3348万円 (8.2%)
仙南夜間初期急患センター事業	4569万円 (6.7%)
地方卸売市場事業	277万円 (7.9%)
合計	41億1819万円 (△0.6%)

企業会計

事業名	予算額 (前年度比)
水道事業	収益的支出 6億2357万円 (△0.6%)
	資本的支出 4億329万円 (16.0%)
公共下水道事業	収益的支出 7億1632万円 (△3.7%)
	資本的支出 6億8186万円 (8.5%)
合計	24億2504万円 (3.3%)

小中学校特別教室等空調設備設置工事 8200万円
 町宮上谷住宅B-2棟
 外壁断熱等改修工事 6600万円
 学校前線道路側溝改良工事 2300万円
 総合体育館外壁改修工事 2200万円



賑わい交流拠点施設
盛土造成等工事

3億5000万円



算査 予審

令和7年度一般会計・特別会計・企業会計

活発な質疑 可決

3月11日から17日にかけて行われた「予算審査特別委員会」での質疑の一部を掲載します。なお議長（岡崎隆）は含まれず、委員長（須藤慎）は議事運営のために質疑を行いません。

遠藤 勇耶
庁舎アスベスト除去
工事

問 庁舎空調工事に伴い、アスベスト除去工事に5000万円計上されているが、この予算の妥当性は。
答 庁舎空調工事が進むに連れて、範囲や費用が明らかになる。現段階では多く予算計上している。



佐藤 暁史
带状疱疹ワクチン

問 ワクチンは1回打つものと2回打つものの2種類ある。金額と効果の年数が変わる。ワクチンは各医療機関で受ける側が選択するのか。または町で指定したワクチンを打つか。
答 1回の接種で済む「生ワクチン」、2回接種が必要な「組み換えワクチン」がある。どちらを打つかは本人が選択。生ワクチン



の自己負担額は2500円。組み換えワクチンの自己負担額は1回につき6500円。

中村 淳
システムガバメントクラウド

問 予算全般に亘ってシステムガバメントクラウドに関する項目が散見される。政府方針としてやらざるを得ないと思うが、費用に関しては、補助金として補えるとしても、人的負担についてどのようになるか伺う。
答 外部委託をするなど職員に負担がかからないように実施していく。但し、契約作業、動作確認などに時間を取られると考える。移行期間を考慮し業務に支障をきたさないように進める。

大沼 常次
水道事業

問 水道事業の今後の方向性をどう

答 環境衛生費の委託料費に於いて不法投棄物処理委託料とあるが、どのような場所にどんなものが投棄されているのか伺う。
答 道路、田んぼ、空き地、集積所等に冷蔵庫やテレビ等の家電、タイヤ、ソファ、自転車等が投棄されている。

秋山 昇
不法投棄

問 環境衛生費の委託料費に於いて不法投棄物処理委託料とあるが、どのような場所にどんなものが投棄されているのか伺う。
答 道路、田んぼ、空き地、集積所等に冷蔵庫やテレビ等の家電、タイヤ、ソファ、自転車等が投棄されている。

佐藤 巖
公園整備

問 公園整備の委託料、公園維持管理委託料とあるが、甲子公園のトイレが汚い。シルバー人材センターへの委託だと思いが掃除の仕方の指導が必要ではないか。
答 週一回巡回しながら清掃とトイレトペーパーの補充を行っている。甲子公園においては、使用頻

考えているか。
答 限られた職員の者への依存傾向は益々高くなっていくものと思われる。市や町が共同して行う「水道事業の広域化」については各市町の利害化から見課題は多くある。



高橋 豊
企業版ふるさと納税

問 企業版ふるさと納税の納税取引先紹介は七十七銀行だけなのか。
答 現在、県内は七十七銀行だけが取り組んでいる。

佐久間 克明
移設事業補助金

問 「民間信仰による石碑等の移設事業補助金」は、高齢化等を鑑みて山の上から麓に移設するためと考えるが、この補助は地区等からの要望があれば継続するのか。
答 地域コミュニティで信仰しているものに対し石碑等の移動に対して補助するもの。町は要項も策定したので、今後も継続する。



総括質疑

万波 孝子

問 物価高騰等が止まる気配がない。町民生活や経営を圧迫し悲鳴が上がっている。生活支援や事業者支援を求める声が切実に出されている。応えていくべき。
答 支援策を検討し、議案の上程を考えている。

大沼 忠弘
会議室増設

問 ミーティングブースの設置場所は。
答 庁舎内1階に2ブース2名の使用可能。1ブース2名の使用可能。

山崎 剛
サイバー攻撃対策

問 委託料において様々なシステム移行が見受けられる。近年サイバー攻撃による被害のニュースが多いが、セキュリティシステムは安全なのか。システム移行にあたり、高度な

丸山 勝利
離農対策

問 離農の原因として高年齢ともう一つ大きな要因として農機具の故障がある。高額なコンバインなど買い替え時期に新たに購入するより離農にな



高橋 芳男
防犯カメラ

問 新たに4台防犯カメラを増設するが、設置箇所はどこか。
答 中部8号公園、中島公園、大河原産業高校北東側路上、保料公園の4カ所に設置予定。

問 新たに4台防犯カメラを増設するが、設置箇所はどこか。
答 中部8号公園、中島公園、大河原産業高校北東側路上、保料公園の4カ所に設置予定。

問 つつしまつ。農地の荒廃を防ぐためにも補助はできないか。
答 国の補助メニューはあるが、スマート農業等要件が厳しく採択されるのが難しい。農家等と意見交換など意見を聞きながら何ができるか検討したい。



山崎 剛
サイバー攻撃対策

問 委託料において様々なシステム移行が見受けられる。近年サイバー攻撃による被害のニュースが多いが、セキュリティシステムは安全なのか。システム移行にあたり、高度な



万波 孝子
雨水対策

問 南原町地区、丑越排水ポンプの更新で140万円が計上されている。これにより従来よりポンプ能力がアップされるのか。
答 排水力は従来と同じ。設置して18年経過したので更新するもの。併せて監視カメラ設置工事（南原町・稗田前）を実施し、大雨時に担当の携帯で確認し初動体制を整える。

秋山 昇
不法投棄

問 環境衛生費の委託料費に於いて不法投棄物処理委託料とあるが、どのような場所にどんなものが投棄されているのか伺う。
答 道路、田んぼ、空き地、集積所等に冷蔵庫やテレビ等の家電、タイヤ、ソファ、自転車等が投棄されている。

佐藤 巖
公園整備

問 公園整備の委託料、公園維持管理委託料とあるが、甲子公園のトイレが汚い。シルバー人材センターへの委託だと思いが掃除の仕方の指導が必要ではないか。
答 週一回巡回しながら清掃とトイレトペーパーの補充を行っている。甲子公園においては、使用頻

※紙面の都合上、一人一問のみの掲載となっています。
予算審査委員会の動画はこちら



予算審査委員会の動画はこちら

令和7年第1回定例会(3月会議) 議案等審議結果

議案	結果 (賛成：反対)	議員別表決結果一覧													議	
		遠藤 勇耶	佐藤 曉史	中村 淳	大沼 常次	高橋 豊	佐久間 克明	須藤 慎	高橋 芳男	丸山 勝利	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖		大沼 忠弘
同意第1号~2号	可決(14:0)	無記名投票による													議	
諮問第1号	可決(14:0)	無記名投票による													議	
報告第2号																議
議案第8号~第34号	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第35号	可決(12:2)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
議案第36号	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願第1号	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 ○：賛成 ×：反対 除：除斥 議：議長なので表決に加わらず 欠：表決時に欠席(欠席・遅刻・早退・退席) 投：無記名投票(人事案件など)

議決責任の明確化

令和7年第1回定例会(3月会議) 提出議案概要

21件(同意2件、諮問1件、報告1件、議案27件)

同意第1号 副町長の選任について

同意第2号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

報告第2号 専決処分の報告について
(工事請負契約の変更 町営上谷住宅B-1棟外壁断熱等改修工事)

議案第8号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

議案第9号 大河原町ふるさと未来基金条例の制定について

議案第10号 大河原町職員定数条例の一部改正について

議案第11号 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

議案第12号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

議案第13号 大河原町非常勤消防団員の定員、任免、報酬、服務等に関する条例の一部改正について

議案第14号 職員の給与に関する条例等の一部改正について

議案第15号 大河原町スポーツ振興基金条例の一部改正について

議案第16号 大河原町公共施設等整備基金条例の一部改正について

議案第17号 大河原町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について

議案第18号 大河原町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部改正について

議案第19号 大河原町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について

議案第20号 大河原町田園文化創造基金条例の廃止について

議案第21号 町道路線の廃止について

議案第22号 令和6年度大河原町一般会計補正予算(第10号)

議案第23号 令和6年度大河原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

議案第24号 令和6年度大河原町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

議案第25号 令和6年度大河原町介護保険特別会計補正予算(第4号)

議案第26号 令和6年度大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別会計補正予算(第5号)

議案第27号 令和7年度大河原町一般会計予算

議案第28号 令和7年度大河原町後期高齢者医療特別会計予算

議案第29号 令和7年度大河原町国民健康保険特別会計予算

議案第30号 令和7年度大河原町介護保険特別会計予算

議案第31号 令和7年度大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別会計予算

議案第32号 令和7年度大河原町地方卸売市場事業特別会計予算

議案第33号 令和7年度大河原町水道事業会計予算

議案第34号 令和7年度大河原町公共下水道事業会計予算

議案第35号 令和7年度大河原町一般会計補正予算(第1号)

議案第36号 令和7年度大河原町水道事業会計補正予算(第1号)

請願第1号 「大河原町郷土資料博物館」(仮称)設立の請願について

1月会議 9件
3月会議 34件
合計43件

令和7年度
一般会計当初予算に歳入歳出それぞれ
1億4571万円を追加し
総額 **121億円**

令和6年第4回定例会(1月会議) 議案等審議結果

議案	結果 (賛成：反対)	議員別表決結果一覧													議	
		遠藤 勇耶	佐藤 曉史	中村 淳	大沼 常次	高橋 豊	佐久間 克明	須藤 慎	高橋 芳男	丸山 勝利	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖		大沼 忠弘
報告第1号 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めること)																議
議案第1号 町長等の給与に関する条例の一部改正について	可決(13:0)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第2号 職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(13:0)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第3号 大河原町学力向上指導のための任期付教職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決(13:0)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
委発第1号 議会の議員報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一部改正について	可決(11:2)	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	議
議案第4号 令和6年度大河原町一般会計補正予算(第9号)	可決(13:0)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第5号 令和6年度大河原町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決(13:0)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第6号 令和6年度大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別会計予算(第4号)	可決(13:0)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第7号 令和6年度大河原町水道事業会計補正予算(第3号)	可決(13:0)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 ○：賛成 ×：反対 除：除斥 議：議長なので表決に加わらず 欠：表決時に欠席(欠席・遅刻・早退・退席) 投：無記名投票(人事案件など)

議決責任の明確化

追加議案
第35号

大河原町一般会計補正予算(第1号)

● 非課税世帯への物価高騰対策として、2200世帯、子ども加算金300人を見込み給付する。7200万円
● おおがわら千本桜スポーツパーク整備・維持管理運営事業を債務負担行為に追加。期限は令和7年度から令和24年度。限度額43億円

討論

反対 大沼 常次
本当に賑わいを引き出せるものになるのかという不安を持っている町民は決して少なくない。20億の建設費、その後高額の維持費を考えた場合、将来の町の財政運営に支障をきたす恐れがあるため、賛成はできない。

賛成 高橋 豊
本議案には、非課税世帯への物価高騰対策支援給付事業が主なもの。債務負担行為43億円は本町のシンボルである千本桜を維持するには必要である。よって賛成する。

反対 万波 孝子
整備・維持運営費のために莫大な税金を投入する事から負の遺産にならないか危惧する。町民の理解が得られているとは思えないため、反対する。

町政への提言 Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は12人の議員が行いました。

- 万波 孝子 P 9
 - 賑わい交流拠点施設について町民は納得しているのか
 - 小・中学校給食無償化を目前に控えて
 - 高齢者の補聴器購入助成制度の新設を
- 中村 淳 P 10
 - 不祥事再発防止対策
 - ※ 賑わい交流拠点施設のモデルケースの内容
- 高橋 芳男 P 11
 - 新総合防災情報システムの利用について
 - 災害発生時における避難所等の通信確保について
 - 誰もが安心して搾乳できる環境づくりについて
- 大沼 忠弘 P 12
 - ※ 役場の業務遂行について
 - 自治体広告について
 - 消防行政について
- 佐藤 暁史 P 13
 - 教育のブランド化について
 - タブレット学習について
- 佐久間 克明 P 14
 - 今後の行政区運営について
 - 公共施設への分煙施設について
- 遠藤 勇耶 P 15
 - ※ ふるさと納税の使い道と行政運営について
 - 子どもの遊び場の整備について
- 須藤 慎 P 16
 - 町職員の働き方改革等について
- 高橋 豊 P 17
 - 稼ぐ自治体について
- 大沼 常次 P 18
 - 町職員の退職手当について
 - ※ 町政の諸課題について
- 秋山 昇 P 19
 - 『おおがわら子どもの心のケアハウス』事業の充実を図る取り組みを
- 佐藤 巖 P 20
 - 高齢化に伴う政策の取り組みについて
 - 「みんなの市場設置」検討結果について

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。(https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/) 各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。

町民は納得しているのか

概ね賛同と認識している



町民に喜ばれる施設であってほしい

万波 広報おおがわらにモデルプラン等が掲載されたが、総事業費や維持管理費を記載しなかった理由は、

町長 施設整備費及び15年間の維持管理、運営費等の合計は

万波 約43億円。参画事業者の募集に向けてこの金額の精査を行っていることから、業者への影響を考慮し掲載しなかった。

町長 モデルプランの確定最終時期は、

町長 住民懇談会等で意見や要望は反映しており、モデルプランは確定したものと考える。

万波 この事業は現時点で多くの町民から賛同を得ているとは思えない。議会の決定と住民の乖離があつてはならない。負の遺産にしてはならない。住民に選択する機会を保障すべきであり、広聴会の開催と現地説明会を求める。

町長 町民からは概ね賛同を頂いていると認識している。引き続き、ホームページ等を活用した丁寧な情報発信や説明責任を果

町長 町民から概ね賛同を頂いていると認識している。引き続き、ホームページ等を活用した丁寧な情報発信や説明責任を果

万波 小・中学校給食無償化にかかる年間の給食費総額は、

町長 児童5万6000円、生徒5万3790円から6万5335円。町負担分は1億2089万円。

万波 町外から通学する児童・生徒は無償化から除外される。よつだが保護者説明は、

町長 文書を送付し周知する。

町長 強い要望が寄せられれば検討する。

万波 全国では200を超える自治体に助成が広がっている。補聴器は保険適用外で高額である。認知症予防にも効果がある。必要性が高くなっていることから助成していく考えはあるか。

町長 購入助成ではなく早期発見と普及啓発等の支援を重視したい。

万波 長野県では77自治体のうち28で実施になる見通し。助成額は2万から10万。大町市では45件で134万6000円を給付している。多額を要しない事から前向きに検討していく考えはないか。

町長 強い要望が寄せられれば検討する。



万波 孝子

賑わい交流拠点施設

一般質問

職員の非違行為

再発防止不十分な対策では

協議を進め信頼回復を



中村 淳

円弱が未払いとなっていたが、決算時に当初予算との差異で気付くことができなかったのか。

町長 年度毎に、対象人数や利用回数により予算額と決算額に差異が生じる事業であるため気付くことは困難。

中村 再発防止策が示されたが、担当者の行動に依存しており、第三者によって処理が完了したことを確認する。

認めるようになったくない。各工程での証跡確認ができ、直接関わらない人が見ても確認できる「見える化」が必要。

町長 コンプライアンスの欠如とコミュニケーション不足が要因。再発防止の取組の協議し、非違行為を絶対起こさない意識を持つ。証跡確認の導入も含め非違行為の根絶を目指し信頼回復につなげる。

12月議会でビレッジハウス漏水事故損害賠償及びそれに関わる予算補正について承認した。また、1月の全協に於いて、福祉課職員による障がい者日中一時支援事業に係る委託料未払い案件も明らかになった。その後、どのような再発防止対策がなされたのか伺う。

町長 止水栓を開き、水抜き栓等を確認して止水栓を確認。水道メーターの針に動きがあれば漏水と判断する。

町長 給水契約の申し込みにあたって、料金設定のために「家庭用」「営業用」の使用区分の申告は必要だが、具体的な使用用途の確認はしない。リフォームでの使用でも内容や進捗を報告する必要はない。

町長 ガスについては、安全確認が必要であることから立ち合いを求めている。他は、宅内に入っている作業が必要な場合を除き立ち合いを求めている。水道に於いては、手順通りの作業をすれば、お客様に危険が生じることがないので求めている。



早急な信頼の回復を

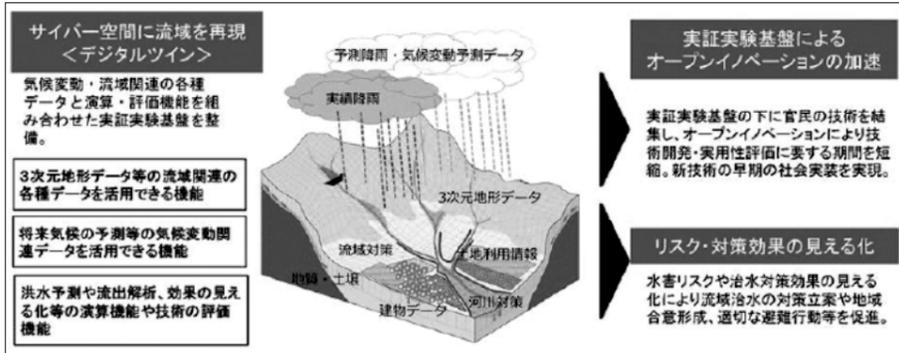
中村 委託料未払の件では、650万

の。ガスについては、安全確認が必要であるから立ち合いを求めている。他は、宅内に入っている作業が必要な場合を除き立ち合いを求めている。水道に於いては、手順通りの作業をすれば、お客様に危険が生じることがないので求めている。

の。ガスについては、安全確認が必要であるから立ち合いを求めている。他は、宅内に入っている作業が必要な場合を除き立ち合いを求めている。水道に於いては、手順通りの作業をすれば、お客様に危険が生じることがないので求めている。

新しいシステム利用の効果は 被災地全体の支援につながる

防災



新しいシステムの有効活用を

高橋 新総合防災情報システムとは、デジタル社会の実現に向け、防災関係機関が共有すべき防災情報を共通のシステムで運用することを目標としたシステム。これまで国の機関しか利用できなかったものを地方自治体指定公共機関も利用できるようなことになった。利用することでどのような効果があるのか。また、対応部局の構成はどうなるのか。

町長 宮城県では、宮城総合防災情報システム(MIDORI)として運用している。県内各自治体で、

高橋 能登半島地震でが断線するなどして通信ができなくなった時、通信衛星を使用して混乱を回避した。今後の大規模災害に備えて、指定避難所への衛星インターネット機器等の新技術の導入を検討すべきと思うが、どうか。

町長 携帯電話などの通信インフラは途絶させてはならないが、効果や活用方法などについては、国や通信事業者においての検証や能登半島地震の効果検証も参考に調査研

避難所等の通信確保を

高橋 国内では授乳室の設置が進んでいるが、授乳室で搾乳もできることについては一般の理解が進んでいない。出産や子育てへの支援を充実するため、授乳室でも搾乳しやすい工夫や、職場における搾乳など必要な方が安心して搾乳できる環境づくりに取り組んでいくべきだと思うが、どうか。

安心できる搾乳環境を

究を進める。

の。ガスについては、安全確認が必要であるから立ち合いを求めている。他は、宅内に入っている作業が必要な場合を除き立ち合いを求めている。水道に於いては、手順通りの作業をすれば、お客様に危険が生じることがないので求めている。



高橋 芳男



一般質問



大沼 忠弘



機能別消防団員導入の考えは

具体的な協議まで至っていない

消防行政

大沼 消防団を補完する体制として機能別消防団員の確立を具体化するべきでは。

町長 団員不足が深刻化するなかで、その活動を部分的に補う機能別消防団員制度を導入する自治体が増えていると伺っているが、本町では制度の導入までの体制が整っていない状況からも、具体的な協議に至っていない。

大沼 予防消防を活動の主軸にした学生班立ち上げの考えはないか。

町長 福島市で先駆的な取り組みを行っていることは認識している。こうした事例を参考にしながら近隣大学と連携した取り組みが出来ないか消防団と協議を進めたい。

町長 この制度に加入している団員は現在6名、他の自治体と比較しても大変低い加入率となっている。加入者から好意的な声が多く寄せられていることから、今後においては日本消防協会から担当者を引き、団員への説明機会を設けていく。

大沼 水防訓練のあり方の今後の考えは。

自治体広告

大沼 現在本町の自治体広告の種類と件数、収入額は。



訓練なくして本番なし

大沼 まだ取り扱いはない自治体広告に今後すそ野を拡げていく考えは。

町長 現在具体的に検討しているものはないが、他自治体や着眼点を参考に活用できるものなどがあれば適宜検討したい。

町長 導入に向けて前に向きに検討していきたい。

大沼 かつて図書館の雑誌スポンサーの導入について質疑した際は検討するとの回答だったが、改めて問う。

校解決の糸口にならないか。

教育長 令和6年度から「OH!かわら楽校」という取り組みがある。農業体験や里山での体験も視野に入れ検討する。

佐藤 本町には「ピアサポート」のような体制は整っているか。

教育長 子ども達は学び支援教室で思いを共有する機会がある。保護者は「ほっとタイム」をケアハウスで行っている。

佐藤 不登校の早期発見ツールはあるか。

教育長 欠席日数が30日になる前から基

準を設け、児童生徒を把握し家庭訪問や連絡等を行っている。

佐藤 通称「ディケン」というアプリがある。子ども達は自分の状態を入力し、先生はデータで子ども達の体調をチェックできる。アプリを取り入れる考えはあるか。

教育長 そういう体制はこれから大事。モデル学級等で研究したい。

佐藤 今の35人学級だと、子ども一人一人に目が行き届かないのではないか。

教育長 少人数にすれば教員が必要。支援員を増やすことも考えなければならぬのではないか。

教育長 十分理解できる。行政が体制を整えていくと思っている。

佐藤 学力が高く不登校が減れば最高のブランドではないか。

教育長 子ども達が笑顔で学校に通える体制づくりは大事。学校には自分の考えを聞いてくれる仲間がいることを感じてほしい。

タブレット学習について

佐藤 子ども達が学校以外でタブレットを使用する可能性がある場所、児童館やいきいきプラザはWi-Fiの使用は可能か。

町長 児童センター、上谷児童館、いきいきプラザにWi-Fiは未設置。

佐藤 こどもまんなか社会なので、子ども達が使う施設から優先して環境整備をしてほしい。

町長 極めて重要なインフラ。できるだけ早く体制を整えていきたい。

※ピアサポートとは同じ境遇や課題を抱える仲間同士で支え合う活動

皆が笑顔で通える学校に

魅力ある学校づくりに取り組む

佐藤 本町の不登校児は全国平均を上



体験学習で「生きる力」を育もう!

本町の児童生徒の学力は全国的にも県内でも上位。しかし不登校児の数も増えているという側面がある。本町の未来、国の未来に関わる問題である。

教育長 回る出現率。町としてどう捉えているか。要因はそれぞれ個に応じた対応を取っている。農作物を作ったり、里山での体験をするなど「生きる力を育む」ことも不登

校解決の糸口にならないか。

十分理解できる。行政が体制を整えていくと思っている。

教育のブランド化



佐藤 暁史



子どもの遊び場

子どもの遊び場の早急な整備を

賑わい交流拠点施設で創出する



遠藤 勇耶

町内には、大型の屋外遊具や屋内遊具施設なく、町内の親たちは、限られた時間の中で町外に遊びに行かざるを得ない状況が続いている。子どもたちの遊び



大型複合遊具、ふわふわドーム

場は、心身の発達にとって非常に重要です。この現実に対応するための具体策を示し、スピード感を持って整備をすすめるべき。

町長 これまで町が考案するモデルプランを公表しているが、親と子が安心して楽しむ過ごせる遊び場として

遠藤 町内の遊び場の現状をどう認識しているか。
町長 屋内施設では、子育て支援センター、児童館、児童センターがある。屋外施設では、町内の公園やMTBSPARKなどが整備され、どちらも多く利用いただいていると認識している。

町長 個別具体的な活用に関して、寄附者の指定用途の状況や住民の要望などを考慮していく。

遠藤 多目的広場や遊具広場を計画している。大型複合遊具や、屋根付き遊具スペースを整備方針として参画事業者に求める要求水準書を示している。

町長 今後、状況を見ながらMTBSPARK等の他の施設との相互活用など含め、十分楽しく遊んでいただける空間になるよう努める。

遠藤 賑わい交流拠点施設の遊具広場の規模、設置遊具の種類、数などは十分なのか。期待に応えられるものなのか。

町長 現状を真摯に受け止めている。遊び場についても、町

行政区運営

一般質問



佐久間 克明

防犯カメラの貸与を

県補助金活用を検討を

佐久間 区長や役員の手不足等、課題が多い。高齢化や新築家屋が増える今、区長会や、区内でも話し合う環境が必要ではないか。

自主防災組織を兼務している。この経緯はあるのか。

町長 核家族化が進み、行政区活動に興味はないなど、地域のつながりが希薄化、社会環境の変化が大きな要因と認識している。

町長 経緯は不明。当時行政区の区割りを行った際、範囲について区会を基本としたことが要因と考える。

町長 核家族化が進み、行政区活動に興味はないなど、地域のつながりが希薄化、社会環境の変化が大きな要因と認識している。

町長 住宅戸数の多い行政区で区割りの考え方は、再編等の要望があれば勉強会や援助が必要ではないか。

町長 本町は、行政区長が自治会長、

町長 担当職員との意見交換、会議等場所の確保、再編まで

町長 町にも多く寄せられ、防犯機器導入の必要性は理解す

総務課長 担当者に話を聴き精査し、検討

町長 健康づくりは町全体で取り組む必要があることを踏ま



泉区で通学児童の安全確保にも導入

の不審者情報や戸建等へのイタズラの被害を耳にする。また犬のフンや畑からの盗難等の相談もある。行政区に防犯カメラを預けてはどうか。

佐久間 東北電力グループの東北送配電サービズ株式会社が電力柱へのカメラ設置サービスを始めた。岩沼市は設置を決めた。本町もぜひ活用してほしい。

佐久間 総務省自治税務局は、地方たばこ税を活用した喫煙所新設を推奨している。分煙施設整備に係る特別交付税措置も拡充され、町以外に民間事業者が行う施設整備への助成経費もある。駅前広場に設置できないか。

町長 医療費が下がる健康づくりが行政の仕事と考えているが、検討できるのか考えている。

町長 班長は各区会の役員として位置づけられている。班長手当も実情に応じた形で金額算定されていると認識する。

佐久間 本町は約2億円のたばこ税があり、吸っている人がいるのが現実。受動喫煙しない環境を整え、ルールを徹底するべきと考える。河川敷のスポーツ公園が完成すれば滞在時間は長い。そこにも必要ではないか。

佐久間 行政区班長の年間手当を町は「協働のまちづくり交付金」で班数算定する基礎額を8000円としている。一班3戸や35戸の班もあるが何件位で考えているか。

町長 健康づくりが行政の仕事と考えているが、検討できるのか考えている。

一般質問

働き方改革

「早出遅出勤務制」の導入を

全職員に拡大させることを目指す



須藤 慎



須藤 職員は、大河原町の発展と町民の福祉向上には欠かせない存在である。職員一人ひとりがより働きやすい職場環境づくりを意識して勤務してほしい。

町長 町の発展と町民の福祉向上を実現するには、働き方改革等の推進により、職員一人ひとりが働きやすい職場環境を構築することで、職員の仕事に対する満足度を向上させ、ひいては組織パフォーマンスの向上や人材確保対策に繋がるものと考えている。

須藤 「早出遅出勤務制・フレックスタイム制・選択的週休三日制」の導入に向け検討を始めるべき。

町長 現在、育児と介護に限定されている「早出遅出勤務制」を全職員対象に拡大させることを目指し、段階的に「選択的週休三日制」、「フレックスタイム制」についても導入の検討を進めていく。

須藤 職員の窓口業務負担軽減のため、各種証明書コンビニ交付手数料（住民票・戸籍謄本抄本等）を窓口交付手数料より安く設定している自治体が多い。本町でも行うべき。

町長 今のところは考えていない。

須藤 「産後パパ育児制度（出生時育児休業）」の周知徹底と取得促進を図るべき。

町長 育児休業のパンフレットを対象者に個別に案内しているが、今後も100%の取得率を目指し、役場全体で仕事と育児の両立支援を進めていく。

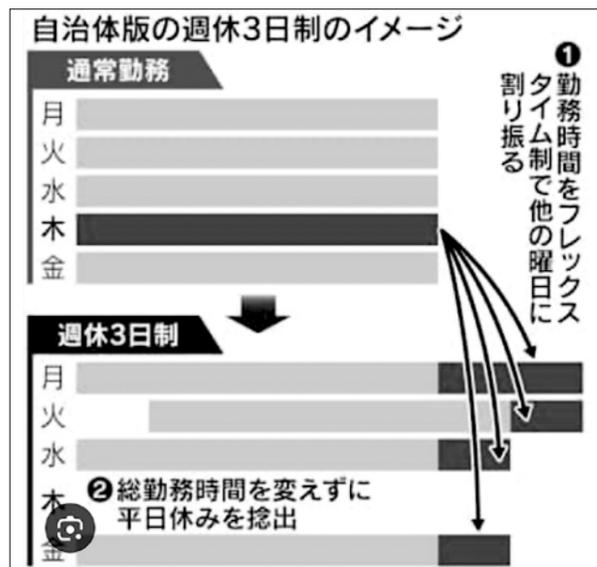
須藤 カスタマーハラースメント（行き過ぎたクレーム）の対応策の周知徹底と、町独自のカスタハラ対策が必要と考える。

町長 管理職向けの「カスタハラ対策の研

修」、一般職員向けの「クレーム対応研修」を実施した。町独自のカスタハラ対策は、必要不可欠と考えている。

須藤 議員のダブルレット導入から2年が経過した。職員にも導入すべきと考える。

町長 現時点において導入は予定していないが、業務の効率化等が図られる環境づくりを目指す上で、ダブルレット導入も選択肢



選択的週休3日制のイメージ図（日本経済新聞より）

賑わい交流拠点施設の収益は

集客や使用料が増える運営依頼



稼く施設として期待する、賑わい交流施設

少子高齢化による人口減少による税収減に対し、社会保障支出の増大やインフラ、公共施設の老朽化や建て替えやメンテナンス費用の増加等、今後の地方

自治体は「稼く自治体」の考え方が必要である。本町の取り組みについて以下質問する。

高橋 一目千本校の今後の桜樹保護の方針とプロモーション

町長 樹木医の指導のもと樹勢回復に努め、景観の維持に努めている。また、白石川右岸河川敷一帯の地域においても、樹木医が交配した桜の新品種を活用する「新たな桜の名所づくり」に取り組むとともに柴田町と2町連携のプロモーションを継続する。

高橋 ふるさと納税の取り組みや今後の返礼品開発について伺う。

町長 桜まつりや事業者が実施するリアルイベントへの参加など、プッシュ型の取

り組みを増やし、より一層多くの本町の魅力を知っていただく。返礼品については地域資源を活用した特産品開発、返礼品のバリエーションを増やす。

高橋 本町における企業誘致の施策や今後の展開について伺う。

町長 大河原町企業立地促進条例による奨励金の交付等を継続する。新たな企業誘致並びに工業の振興に繋げるため、川根工業団地に分譲用地を拡大する。

高橋 賑わい交流拠点施設に対する官民連携の考え方や収益の考え方について伺う。

町長 賑わい交流拠点施設の整備及び維持管理・運営業務について官民連携手法を導入、参画事業者の募集を進める。民間活力

の導入効果として、民間企業が蓄積する経験や技術的ノウハウ、新しいアイデア等を事業に取り入れ、エリアが有するポテンシャルを最大限にして効果的な整備や維持管理・運営を行い、集客性や収益性の向上に繋げる。

収益については、収益施設の一部を除き、サービス購入型の維持管理。運営を計画している。町からサービス対価を支払い、有料施設等の使用料を町に納入。参画事業者には、多くの集客や使用料が増える運営を依頼する。

稼ぐ地域



高橋 豊



一般質問

特別職の退職金



大沼 常次



特別職の任期ごとの退職金は高くないか

質問に答える立場にない

大沼 (1)町職員(特別職含む)の退職手当(退職金)は、本市町村職員退職手当組合に委任しているが、過去5年間の当該組合への負担金総額と給付金総額について明らかにしてほしい。

町民は知る権利がある。町民への説明責任の義務はあると思う。

町長 町長はじめ特別職にある方は、その任期ごとに退職金が支給されている。特に町長は任期ごとに1700万円以上もの退職金が支給されている。4年ごとに高額な退職金の受けることについて、町民感情の観点から見るとどのように感じているか。

内市町村間の退職手当給付基準を同一にして給付の均衡化を図り、市町村財政の安定を図ることを目的に設立されており、仙台市を除く県内全市町村で構成された一部組合です。共同処理する事務は市町村の退職手当。退職手当組合は、一部組合であることから、議会が設置されており、事務の審議についてはその中から、私がこの場

で退職手当についての質問にお答えする立場にないことをご理解願うが、一期分の町長の手取りの退職金は1230万円。

大沼 町はこの組合に毎年、1億2千万円程、町の税金で負担しているわけで、納税者として、どのくらい給付されたのかを知る権利は当然のことながらあるはずである。

総務課長 質問された件については、組合



退職金受給は当然の権利、なぜ情報公開を拒む

総務課長 この退職手当組合の運営を審議する議員は各市町首長が務めている。その中の資料の内容、各市町の負担金額等については公開すべきものではないと考える。

※1 特別職とは、ここでは町長・副町長・教育長を指す。

※2 複数の地方公共団体が行政サービスの一部を共同で処理するために設立された特別な地方公共団体。仙南広域行政事務組合も一部事務組合で

充実を図る取組みを

社会全体で行う考え



心のケアハウス事業の拡充を

「みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業」には、大河原町も手を挙げ、9年目を迎えるが、2021年以降補助の減額が示されている。事業の継続、拡充を期待し伺う。

秋山 本町は教育先進地として位置づけられている。「おおがわら子どもの心のケアハウス」の視察状況と決算状況は。

教育長 視察状況は平成28年度から30年度までで年平均13回。令和元年度から令和5年度はコロナの影響で年平均5回程度。令和2年度まで県の負担が10割で、施設管理費等

は補助対象外なので町で3分の1を負担している。令和5年度の決算額は1248万円。

秋山 この事業で見直しや拡充された取り組みは。

教育長 当初は大小と大を6名派遣していたが、大小と大中に学び支援教室が新設されたことにより、令和4年度に3人体制になり職員体制の見直しがされた。その他に小中学生を対象にした土曜子供塾を令和4年度から実施している。拡充された取り組みは不登校の子どもを持つ親の会「ほっとタイム」や不登校の児童生徒を対象とした「OH!かわら楽校」を開催している。

整備のために拡充する」と回答していたが、今後も同様なのか。

教育長 ケアハウスは子供の居場所づくりのための重要な施策の一つであり、不登校の様々な要因を持つ子供に対する支援のために、今後ますます必要になる。今後も事業を維持しつつ、学び支援教室などの取組を充実させていく。

秋山 総合的、重層的、継続的な取り組みが教育において必要だと思ふ。町も同様の認識をしているか。

教育長 不登校児童生徒みは社会全体で行うものであるため、他の課とも連携し取り組むことが重要であると考え、同様の認識である。

不登校対策



秋山 昇



秋山 以前、同僚議員の縮小はしない。昨今の子供を取り巻く環境

一般質問

産業振興



佐藤 巖



みんなの市場の検討結果は

現時点では課題がある

佐藤 大河原町地方卸売市場は年々買

請人の減少で取扱量により手数料収入も大幅に減っている。市場との共存を考え施設の一部に「大河原物産」を発信する「みんなの市場」を度々提言してきた。第一回目の町長答弁は「県南部の交通の要衝で拠点となりうる可能性を秘めた場所と認識しており、市場の持つ機能性、現在の経

営環境改善の方向性を見定め共存できる可能性を見定め調査する」であった。この答弁に期待し、一般質問で5回の提言を続けてきた

町長 市場運営を継続する方策を第一とし、既存施設を様々な観点から考察してき

たが、地場産品の売り場、「みんなの市場」の併設には現時点では課題があるものと認識し、今後の青果市場の在り方の意見として承る。

高齡化への町の取り組みは

佐藤 人生百年時代といわれる近年、大河原町の高齡化率も上昇している。5期目を迎えた町長は「認め合い・支えあい・活か

しあう」を基本理念とし変革の時代に挑戦していくと施政方針に示したが令和7年度予算の中に高齡者の目線に立つた政策はあるのか

町長 団塊の世代が後期高齡者となる2025年は町にとって超高齡化のスタートの年となる。住み慣れた地域で高齡者の尊厳と自立生活を支援する「地域包括ケア支援システム」の推進と地域

共生社会実現のため「重層的支援体制整備事業」の本格的な予算を盛り込み、高齡化を重視したのとなっている。



みんなの市場で活性化を求む

委員会活動

文教厚生常任委員会

請願事項の調査

「大河原町郷土資料博物館」(仮称)建設に関する請願について

請願者 大河原町史を語る会 代表 鈴木 雅典氏

紹介議員 丸山 勝利

地方自治法第124条の規定により、請願書を提出

総務産業常任委員会、文教厚生常任委員会はそれぞれ次の内容について調査を行った。広報常任委員会は4回の編集会議を行い議会だよりの発行を行った。

1 請願者からの聴聞及び質疑 請願趣旨(抜粋)

大河原中学校の東側に建てられていた「民俗資料収蔵室」には、多くの収蔵品がされていたが、現在は鷺沼の旧廃棄物処理施設の建物に移され、町民が見学できる状況にない。民俗資料収蔵室に保管されていた品々は、かつて生活の中で使用していたもので、町民の生活をそのまま現代に伝える証とも言えるべきもの。町民だけでなく、特に子供たちは日本史や世界史だけでなく町史を学ぶことは必要。収蔵遺品を通して先人の生活が学べる。自分が今後どのように生き、町全体について等を考えることで、町の発展に大きく貢献することにもつながる。

【まとめ】

担当課においては、現在の保管環境が十分でないことから新たな施設整備や既存施設の改修利用など多面的な検討・協議を行ってきた。また、今後の方向性として、新たな検討会議の設置や、小学校での移動民俗資料展などの企画を考えており、今回の請願の要旨に沿う前向きな取り組みを行ってきている。しかしながら、現状の管理保管方法では貴重な収蔵品の劣化の危険性。収蔵品の整理選別を行うにも担当課職員だけでは困難な状況で、課題はある。

本請願の件について、文教厚生常任委員会の審査結果は「採択すべきもの」と決定した。



総務産業常任委員会

調査内容 防災について
調査日 令和7年1月28日(火)
調査結果

(1) 同報系防災行政無線整備について

国の基準を満たす設置は令和7年度の整備において完了する予定である。

Jアラートの発信は屋外拡声器と防災行政無線から同時に音声の流れ、携帯電話にも情報が発信される。情報発信は全国一律ではなく、関係のある地域のみで行われる。

(2) 水防対策について

総合防災訓練で消防署の指導のもと、町民が土のうをつくる訓練を行っている。

(3) 自主防災組織の状況について

現在、3つの行政区において自主防災組織が未結成である。未組織地区の防災訓練に関しては、行政区自治会として防災訓練に参加する。

【まとめ】

- 同報系防災行政無線が令和7年度に整備されることにより、住民の安心につながると思われる。
- 備品リストは一覧表にして各集会所に設置し、賞味期限や数量など、町民が自由に閲覧できるようにすることが望ましい。
- 土のうの代わりになる止水板を町で購入して、訓練の際に使用方法を教えるなどして、採用を進めるべきと考える。
- 自主防災組織を行政区単位ではなく、避難所単位等組織化していく方法も考えていく必要がある。

こんな町に住みたい



金ヶ瀬中学校3年 磯 瑛士朗さん

私の望む理想の町は、駅前が発展したにぎやかな町です。駅利用者の多さを生かし、ショッピングモールや商店街を建設することで、町民の利便性と楽しさを向上させられると思います。さらに、町主催のイベントやアンケートへ積極的に参加することで、町民のコミュニケーション意識を高め、主体的な町づくりへの参画を促すことができます。皆で意見を出し合い、活気あふれる駅前を中心に、より魅力的な大河原町になってほしいと思います。



金ヶ瀬中学校3年 佐藤 かなさん

私はSDGsの理念に基づいた、誰もが安心して住み続けられる美しい町で暮らしたいと思います。しかし、近所の道や河川敷は、残念ながらポイ捨てされたごみが目立ちます。ごみの散乱は、そこに住む人々に不快感を与えるだけでなく、地域の環境に悪影響を及ぼします。このような状況を改善するため、住民が協力し、美化活動に取り組みることができれば素晴らしいと思います。誰もが「ここに住み続けたい」と思えるような、清潔で美しい町が私の理想とする町です。

6月議会のお知らせ

招集日 6月4日(水)・再開日 6月10日(火)
詳細は議会事務局まで ☎53-28000

議員研修

研修目的

今回の「議員研修会」を踏まえ、改選後の議会への提案や検討案件を申し送りすることで、対話する議会・議員を目指すもの。議会基本条例により、2年毎にこの条例の目的が達成されているか「議会運営委員会」で検証するとされており、委員会で取りまとめを行い、全員協議会で提案する。評価結果は表のとおり(5ができていて、1ができていない)。



評価項目	評価	評価理由(抜粋)
第5条:議会の活動原則	2	住民の意見は伝えてるが、政策提言ができてない
第8条:町民との関係	1	町民会議を開いたことがない
第9条:議会広報	4	QRコードの活用等、多岐にわたっている
第11条:議会報告会	4	開催方法の検討が必要
第16条:自由討議	1	できていない、やり方の検討が必要
第24条:条例の検討	2	検討のやり方が明確になっていない

1月31日に青森大学社会学部教授の佐藤淳氏を迎え、「対話する議会・議員を目指して」というテーマで議員研修を実施した。



街かどコメント

サイクリングコースから見える蔵王連峰。一番左側に位置するのが不忘山です。雪解けの春、残雪模様が特徴的です。炎のようにも、はさみを振りかざす蟹にも見える白石スキー場の上。不忘山の残雪が私にはブライダルドレスを着てブーケを掲げる花嫁に見えるのですが皆さんはどう思いますか？

中村 淳

編集後記

この議会だよりが任期最後の編集作業となります。委員の皆様を支えられながら、町民の皆様に興味を持って読んでいただける紙面づくりに努めてまいりました。

物価は高止まり傾向で町民の皆様の生活に影を落とし、災害などの発生で不安なことも多いです。しかし我が町の咲き誇る一目千本桜のように、町民の皆様が美しく穏やかに過ごせるよう、改選後も議員全員で取り組んでまいります。4年間ありがとうございました。(佐藤 暁史)



今回の表紙は

今回の表紙は金ヶ瀬中学校79回目の入学式です。新1年生の皆さんのご入学を心よりお慶び申し上げます。皆さんは新しい学びの場に大きな一歩を踏み出します。自然豊かな伝統ある金中で、大きな出会いや楽しい経験がたくさんあると思います。わが町が誇る一目千本桜のように、のびのびと成長して素敵な花を咲かせてください。

佐藤 暁史

- 編集発行責任者 岡崎 隆
議長 岡崎 隆
議会広報常任委員 佐藤 暁史
委員長 中村 淳
副委員長 高橋 豊
委員 須藤 克明
委員 丸山 勝利

町民の声

子育てや町に望むことを
お聞きしました。



プロフィール

^{みや}宮 ^{えみ}絵美さん (原前区)

宮城県岩沼市出身

【家族】夫・子ども3人・義父・義母
7人家族

大河原町に住む ことになった経緯

実家は宮城県岩沼市です。就職先の関係で大河原町に引っ越ししました。

その後、結婚して夫の両親と同居し、現在は家族7人で暮らしています。仕事は夫と一緒に飲食店を営んでおります。

全部凝縮して ぎゅっとして いる町

大河原町は小さな町ですが、その中で全て揃っている便利な町です。役場や県の出先機関や銀行・郵便局・医療機関等、生活で必要なものが近いところに集まっているし、買い物も近場で揃っています。

白石川の桜も毎年楽しみにしています。一目千本校は本当に素晴らしいと思います。町全体がピンク色に染まって本当に綺麗だと思います。

います。

大河原町はスポーツも盛んだと思います。子どもたちが部活動でバレーとバドミントンをやっていますが、県大会に行くこともあり、盛り上がっています。私も大会の時には現地で応援しています。

まちなかに 賑わいが欲しい

駅前に人が集まる場所を作って欲しいと思います。飲食店も少ないのですが、カフェでコーヒーが飲めるところも無いので、電車から降りて駅から出る人も駅前で留まらずに目的地に行ってしまうので、駅前に人が少なく寂しいです。

賑わいを作るために町内のお店を紹介した冊子を作成して、スタンプラリーでお店をまわれるイベント等も企画して賑わいを作りたいと思います。駅前図書館が7時でしまってしまうので、



駅前に時間が遅くまで使える学習スペースを作っていたら親として安心できます。

駅前にレンタル サイクル設置を

大河原町は範囲が狭いので、レンタルサイクルがあるといいと思います。駅前にあると電車に乗った観光客の方が、一目千本校の白石川河川敷だけではないところまで足を運んで下さると思います。今後河川敷に整備する予定の賑わい交流拠点施設の方まで行くのにも便利だし、ぎゅっ

している町なので、車より自転車の方が便利だと思います。

南小「おやじの 会」が良い

南小学校に親子会とは違う、「おやじの会」という子供たちのお父さんの組織があつて、防災キャンプとかドラム缶風呂とか器作りとかいろいろな体験を子供たちにさせてくれています。災害時にもきつと役に立つので、他の学校でもそのような組織があれば良いと思います。